

（午前10時30分 再開）

○議長（中本正人君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番9、13番 樽井君。

〔13番（樽井豪男君）登壇〕

○13番（樽井豪男君）それでは、私、非常に前置きは苦手ですので、早速、議長のお許しを得ましたので、一般質問に移りたいと思います。

まず、一つ目は、特別教室の空調設備について。二点目は、地域活性化に向けてでございます。

まず、一つ目の小・中学校特別教室（図書室・音楽室等）の空調設備について。

市長の公約でありました教室にエアコン設置については、財政状況により見送りになり残念であります。各学校の特別教室のエアコン設置の考えはないか伺います。

①小・中学校特別教室のエアコン設置状況は。

②エアコン設置の優先順位はあるのか。

③来年度の予算処置について。

各三点でございます。

続きまして、2、地域活性化に向けて。

これは、5月に経済建設委員会よりカフェスタイルの議会報告会を行いました。私どもは学文路地域でございます。そのとき市民の方から貴重なご意見をいただきましたので、市の考えを伺いたいと思います。

①万葉歌など、ボランティアの方にハイキング等で説明を行っていただいておりますが、地域の植物や言い伝えなど、観光資源でもあり、市が調査を行い統一した説明を行うため、

説明者の育成を行うべきではないか。

②鉄道写真の撮れるポイントを観光地図等に載せてはどうか。

③キャラクターを案内表示に使ってはどうか。例えば、「はしぼう」、「まことちゃん」等は著作権もありますので、一応入れております。

④中学校の統合による旧校舎をサテライトキャンパス、職人の館などに利用してPRしてはどうか。

以上でございます。壇上から説明を終わります。

○議長（中本正人君）13番 樽井君の質問項目1、小・中学校特別教室の空調設備に対する答弁を求めます。

教育部長。

〔教育部長（森中寛仁君）登壇〕

○教育部長（森中寛仁君）一点目の小・中学校特別教室のエアコン設置状況についてお答えします。

まず、小学校につきましては、全15校中、パソコン教室は15校、図書室は10校、音楽室は2校、教育相談室は4校、英語活動室は1校、多目的室は2校、生活室は1校設置しています。また、中学校につきましては、全5校中、パソコン教室は5校、図書室は2校、教育相談室は4校、特別活動室は1校設置していますが、音楽室には設置できていません。

二点目のエアコン設置の優先順位はあるのかとのお質問ですが、パソコン教室はOA機器を多数配置している関係で、全小・中学校にエアコンを設置していますが、その他の特別教室につきましては、特段の優先順位を設けているということはありません。

ただし、教育委員会としましては、学力向上に向けて読書活動を積極的に推進していることもあり、夏場の暑い時期においても、児童生徒にはできるだけ図書室を活用してもらいたいと思っています。そういう意味では、図書室の優先順位は非常に高いと考えていますし、学校現場からも強い設置要望があります。また、音楽室につきましては、歌声や楽器を演奏する音が外にもれることで近隣から苦情を受ける場合もあります。その場合には、夏場の暑い時期といえども、窓を大きく開放して音楽の授業やクラブ活動をするのが難しい状況となります。そういう意味では音楽室にもエアコンがあるほうが望ましいと考えています。

次に、三点目の来年度の予算措置についてですが、市の財政状況を考えると、普通教室にエアコンを設置することは当面難しい状況が続くと思えます。しかしながら、特別教室、特に図書室につきましては全小・中学校に設置することにより、教育環境の向上を図っていくことも教育委員会の責務であると考えています。今後は、財政状況も考慮しながら計画的に設置してまいりたいと考えています。

○議長（中本正人君）13番 樽井君、再質問ありますか。

13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）今回の答弁の中で、図書室については設置を行いたいということの答弁でございました。まず、それでは、図書室について若干お聞きしたいと思えます。

図書室にエアコンがない学校の名前を教えてください。小学校、中学校、小学校で5校、中学校で5校だと思えます。また、その平均の図書室の平米数がわかれば教えていただきたいと思えます。

○議長（中本正人君）教育部長。

○教育部長（森中寛仁君）お答えさせていた

できます。

図書室にエアコンがついていない学校名は、まず小学校は、紀見小学校、隅田小学校、城山小学校、三石小学校の4校でございます。続きまして、中学校につきましては、隅田中学校、紀見北中学校、高野口中学校の3校の合計7校でございます。

そして、図書室の大きさにつきましては、学校によって大きさはさまざまではございますけれども、例えば、小学校で申しますと、一番図書室の小さい隅田小学校では80.0㎡、一番大きな三石小学校では165.6㎡、中学校におきましては、一番小さい隅田中学校では83.25㎡、一番大きな高野口中学校では152.88㎡となっております。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）すいません、1回目の答弁の中で、小学校全15校中、図書室は10校ってあるんですけども、先ほどいただいたんは4校やったんじゃないかと思うんですけども、再度もうちょっとゆっくり小学校の名前を言っていたらありがたいです。

○議長（中本正人君）教育部長。

○教育部長（森中寛仁君）図書室のついてない小学校をもう一度、申し上げます。紀見小学校、そして、二つ目が隅田小学校、そして、三つ目が、城山小学校、そして、四つ目が三石小学校。先ほどすいません、信太小学校が五つ目となっております。信太小学校の回答がもれておりました。おわびいたします。以上、5校です。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）何かちょっと早く終わりそうなんです。まず、ほかの特別教室も多々あると思うんですけども、今回は、まず図書室が、全部で20校中12校がもう配置されておるということで、なぜほかの学校、継続していかないのかなと思っとたんですけども、今

回8校ですので、先ほど言われた図書室の平米数が80㎡から165㎡、これ、質問に先立つ前に、後ろの電気関係に詳しい方にいろいろ聞いたんですけども、80㎡でしたら約4馬力、165㎡ぐらいでしたら、一番大きいのであれば8馬力というぐらいの三相200Vになると思うんですけども、そのぐらい大きさがかかると思います。

それで、単純に、1馬力10万円かかってしても、だいたい平均6馬力したら60万円して、8校かな、市の多分積算になったらもっと高くなると思います。ひょっとしたら1,000万円近くになるんじゃないかなとは思うんですけども、その中で、答弁の中で、きょう図書館につきましては、全小・中学校に設置することにより教育環境の向上を図っていくことも教育委員会の責務であると考えていますと。この責務というのは、こういった行政がよく使う言葉であるんですけども、まずこの責務という意味合い、おもりをどのように感じておるか、教育長、お答え願えますか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）お答えします。橋本市財政再建の年が続きます。非常に大事な時期でもありますが、読書活動は答弁にもありましたように、学力向上、そして何よりも人格の形成、これは非常に重要な活動であると、このように認識しております。そういう意味で、学校図書館の環境整備、特にエアコンの設置につきましては、果たさなければならぬ務めではないかと、このように考えています。そういう意味で責務という言葉を使わせていただきました。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）この責務の意味合いと、非常に果たさなければならぬ務めという意味合いなんですけども、務めることができないという、ひょっとしたら、お考えもあるか

もわかりませんし、そして、また財政状況も考慮しながら計画的に設置していきたいと、これはあくまでも教育委員会サイドから市の財政当局に出す、来年度、当初予算への要望が多分出ると思うんですけども、先ほど市長も同僚議員からのいろいろの質問の中で、非常に来年度厳しい、地方交付税も3億円ほど減るということは聞いております。非常に厳しい中で、この残された図書室だけでも、市長の公約でありました普通教室は無理にしても、この残った8校だけでも図書室を全てそろそろ状態ですていただけないかどうか。

これは恐らくもう10月の半ばには教育委員会から予算要望が上がって、12月ぐらいには部課長査定を行い、最後に市長査定が1月頃になると思うんですけども、これはもう部長に聞けば、恐らく財政状況もありますので、市長の判断というのが非常に最後に問われてくるので、ちょこちょこ1台、来年度は2台とか3台とかという考えじゃなしに、やはりもう図書室だけは全校そろえるというお考えは持っていたきたいと思うんですけども、そこらあたり、財政の来年度の当初予算に向かったの、非常にこの部分は、結構、1,000万円近い金というのは高いですけども、何とかいろんな予算をやりくりしながら、この8校だけがついてないという現実を踏まえながら、何とかいい方向に考えていただきたいと思うんですけども、市長、どうぞございますか。

○議長（中本正人君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）樽井議員の質問にお答えをします。

個人的な気持ちとしては、つけてあげたいなというふうに思っています。ただ、給食センター、そして応其小学校、学文路小学校という改修事業もありまして、給食センターに

つきましては、補助金がつけば前倒しをしていくというふうなことも考えておりますし、応其小学校についても長寿命化って、40年以上たっているんで、そこの部分の補助金があれば進めていく。そして、一番難しいのは、学文路小学校の改修工事につきましては、施設整備金のほうがなくなっていますので、ここがどうなるかというような問題も、実は学校の改修でかなりのお金を投入するような問題もあります。

個人的には何とか図書館にエアコンというのは考えていきたいと思いますが、先ほど6番議員にもお答えしましたように、優先順位を決めてやっていきたいというふうに思っています。現状の中でどういう形になるのか。まだ、実際に予算的なものが上がってきておりません。エアコンをつけるのに1校300万円とかというような話もちょっと聞いておりますので、そうすると2,000万円以上、設計を入れたら3,000万円ぐらいのお金が必要になってくるのではないかなというふうに思っています。

できるだけ各小・中学校が平等にできるように、これから査定の中でしていきたいと思っています。気持ち的には何とかつけられるかなとは思いますが、実際、地方交付税の減であったり、税収の減もありますし、非常に公債費も来年は39億円というピークを迎える中で、どこまで予算をつけていけるのかというのが非常に難しい状況の中ではありますけれども、できるだけですけども平等に教育は受けられる環境をつくっていききたいと思っていますので、もう少しお時間をいただいた中で、査定をした中で考えていきたいと思っています。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）やはり最初300万円とか云々という話、誰がどない言うたかわかりませんが、非常にやはり特別教室だけでし

たら、新たにキュービクルをするなりとか、恐らく学校内の電源を利用した中で十分できる容量だとは思いますが。その中で、今、目安になった2,000万円、それやったら、3分の1ぐらいできたら十分できるやないかとそんな判断もありますので、やはり設計時にはシビアに設計していただいて、何もたくさん予算をとったらええわじゃなしに、もっとシビアに本当にこのぐらいの範囲の中で、まず検討を加えてやっていただきたいと思います。

先ほど市長の個人的な意見ですけども、ちょっとええ返事かなとは思っていますので、その中でも値切るようにないように8校が、先、中学校からやりますとか、小学校からやりますというのになれば、非常にまた1年待たなあかんということで、できるだけほかの今言われた事業の中でも、少しでも入札差額も出てきますので、やっぱりそういうもんも当てにしながら、来年度はぜひ当初予算を組み込んでいただきたいと思います。これは非常に強い要望でございます。

これで一つ目、終わります。

○議長（中本正人君）次に、質問項目2、地域活性化に向けてに対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（笠原英治君）登壇〕

○経済推進部長（笠原英治君）次に、地域活性化に向けてのおただしについてお答えします。

一点目の観光ボランティアガイドの養成については、観光振興を進める上で、本市の歴史・文化などの観光資源を観光客に正しくお伝えするために大切なことであると考えています。

このことから、橋本市の観光に関して全てを網羅しているボランティアガイドの養成も必要ですが、個人旅行、体験型観光の需要がふえる中、今後、得意な分野に限定した、例

えば、万葉の歌碑、文化財、戦国歴史ものなどに特化した優秀なガイドの養成に努めていくことが将来的に持続可能な観光振興につながるものだと考えています。

二点目の鉄道写真の撮れるポイントを観光マップなどに載せてはとのおたただしですが、現在、橋本市観光協会発行の冊子「まん福なび」の表紙に南海電車の天空が走る鉄道写真を掲載しています。この表紙に写る鉄橋付近は、鉄道マニアの中では穴場的な撮影ポイントであると聞いております。観光振興を進めていく上で、鉄道ポイントに限らず、本市のすぐれた景観ポイントを発掘、発見のため、情報を収集し、観光マップのみならず多様な媒体で発信してまいりたいと考えています。

三点目のキャラクターを採用した案内表示についてですが、本市では黒河道が10月に世界文化遺産に追加登録されると予測していることから、和歌山県の指導に基づき、周辺自治体と整合性のとれた共通の仕様により、観光案内看板の設置を予定しています。

さらに、親しみのある市のマスコットキャラクターの「はしぼう」を使った案内看板を適所に設置したいとも考えております。

○議長（中本正人君）教育部長。

〔教育部長（森中寛仁君）登壇〕

○教育部長（森中寛仁君）次に、四点目の中学校の統合による空き校舎をサテライトキャンパス、職人の館などに利用しPRしてはどうかという質問にお答えします。

国全体の少子高齢化が進む中、全国的にも統廃合などによる学校の廃校数は年々増加傾向にあります。本市でも橋本中央中学校設立にかかる統廃合により、旧西部中学校と旧学文路中学校の2校が閉校となっています。

学文路中学校跡地につきましては、公民館等公共施設の建設など、統廃合前からの強い地元要望があり、市としましてもできるだけ

これらの要望に応じていきたいと考えています。

また、文部科学省では、ホームページにおいて広く情報提供することにより、廃校の活用を希望する民間団体と地方公共団体とをマッチングさせ、廃校となった校舎を文化創設施設や体験交流施設、製品加工施設、あるいは福祉施設など、地域の活性化のための施設として再利用させることを目的とした「未来につなごうみんなの廃校プロジェクト」という取り組みが約5年前から実施されています。

西部中学校跡地についても、今後利用計画案を示していく必要がありますので、他市での成功事例などを参考に、民間のアイデアと資金を活用することも視野に入れ、有効な跡地利用方法を検討していきたいと考えています。

○議長（中本正人君）13番 樽井君、再質問ありますか。

13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）一つ目といたしまして、全体的なんですけども、一つ目の特化した優秀なガイドによる持続可能な観光振興にはガイドのビジネスとして確立が必要だという考えもありますけども、そういったビジネス産業としてする考えというのはあるのかどうかを伺います。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）壇上でも答弁いたしました。橋本市の観光に関して、全てを網羅しているボランティアガイドの養成も必要なんですけど、本当に個人旅行とか体験型、以前の団体旅行に比べて非常に増えていっております。そういう中で、少し勉強していただくで、もともと非常に知識のあるか、そういった方に得意な分野に限定して、例えば、壇上でもお話しさせてもらったよう

に、万葉の歌碑であったり、文化財であったり、歴史のものであったり、場合によっては伝統工芸の関係、自然アクティブ系であったり、食べる場所、お酒を飲む場所、そういったアドバイスでもええかと思います。そういった部分に特化した、いわゆる友達ガイドって最近よく呼ばれるんですけど、そういう方を多数置いて、これは若干、規制緩和なんかも関係してくるんですけど、そういうビジネスとして確立していくことが、議員ご指摘のとおり将来的に持続可能で、やる気のある観光振興につながるものだと考えております。

以上です。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）いろいろな形で答弁していただいておりますが、やはりこれを実施に向けるというのが、一番重要だと思います。いろんな本当に言葉的には非常に立派な回答を、いろいろ頂いとるんですけども、これが本当にできてこそ、この回答は報われますので、それは十分早い段階で、すぐ精査して動いていただきたいと思います。これは要望です。

続きまして、再質問2番といたしまして、廃校の有効活用として、サテライトキャンパスの誘致を質問していますのは、そういった市民の方からいろんなご意見をいただいた中で、大学生とか、専門的な知識の人が、学生の視点を活用して、そこでサテライトキャンパスを行う。また、伝統職人の後継者問題や地場産業の振興などの提案により地域活性化を図れるという形で、そういう市民の方からのお話がありました。このことについて、経済推進の観点からお考えをお聞きしたいと思います。

○議長（中本正人君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）サテライトキャンパスの設置については、当然大学の理解

が不可欠ですけど、本市では、実は現在、インターカレッジコンペティション事業を行って、官学連携の取り組みを推進しておるところです。せんだってから4校6チームが参加して、この本市を訪れてくれて、さまざまな地域の方とかかわって、いろんなこの橋本市にとっての提案をしていただく予定になっております。11月か12月にコンペティションをしますので、ぜひ議員の皆さまにも来ていただいて、どういう提案を学生からしていただけるか、また聞いていただけたらと思います。

サテライトキャンパスであったり、インターカレッジの具体的な効果としては、まず学生の新鮮な提案、発想によって特産品であったり、地場産業、農林振興などの切り口とした地域活性の手がかりになってくると思います。

それと、大学生と地域のかかわりが、市民であったり事業者、農業者のモチベーションを非常に向上させるものにつながってこようかと思います。それより何より、在学中から事業等を通して、地域とのかかわりを深める取り組みによりまして、学生が東京や大阪へ行かずに地域に残るといって、そういう地元定着率の向上につながってくると思います。いわゆる移住、定住促進、そういったものにも最終的にはつながってこようかと考えております。

以上です。

○議長（中本正人君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）非常にいろいろなお考えがあって、非常にいいと思います。先ほども言ったように、本当にこれがすぐ行動に起こして、すぐ成果、ある程度出てくるように、まずは早いこと取り組んでいただきたい。

最後になりましたが、この西部中、学文路中につきましては、やはり地元の区も自治会もありますので、十分協議をしていただいて、

問題のない形でどうしていくか、後の利用をどうしていくかというのを十分、各地元とも話し合っていて、していただきたいと思います。これは要望です。

これで、私の一般質問を終わります。

○議長（中本正人君）13番 樽井君の一般質問は終わりました。